

個別リスク検診研究
ニュースレター

アイリスレター

Vol.5

「アイリスレター」は、
個別リスクの内視鏡検診研究に
ご協力いただいた方に
お送りしているニュースレターです。

見出し

- * 研究参加者 6,000 人超え ……1
- * がん検診の新しい方法は期待できるか? ……2
- * 研究参加地域の紹介 ……4



発行日 令和2年3月20日
発行元 胃内視鏡検診研究事務局
URL <http://www.j-sasg.jp/>

研究参加者 6,000 人超え

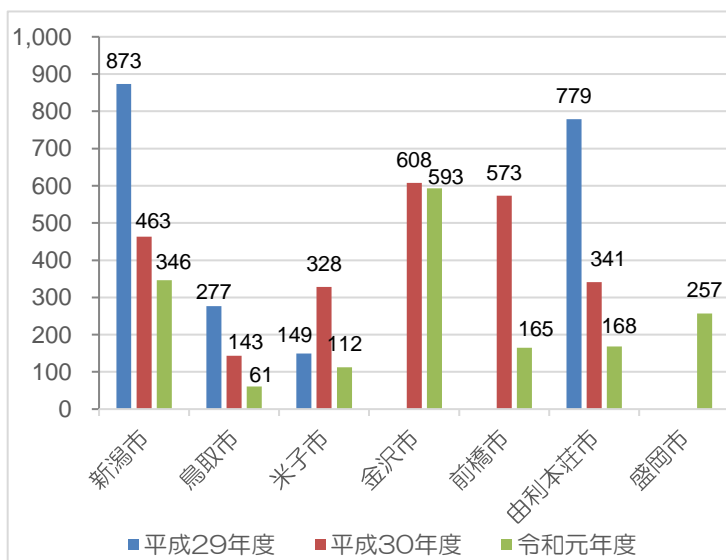
令和元年度の参加地域は全国7市となり、
研究協力者も順調に増加しています。3年目を
迎える令和2年1月末日の研究参加者は
6,200 人を超えました。

最も研究参加者が多いのは、新潟市の
1,682 人、ついで由利本荘市や金沢市が順
調に研究参加者を増やしています。

本研究は、胃内視鏡検診を受診される
方々を対象として全国規模で行っています。
令和2年度も引き続き研究参加者のリクル
ートを行っていきます。研究に参加してい
ただく人数の目標は 15,000 人です。

すでに研究にご協力いただいている皆様
にはお近くのご友人やご家族の方で研究に
ご興味のある方にも、研究協力へのお声
かけをお願いします。

胃内視鏡検診リクルート状況



本研究は、日本医療研究開発機構研究費による「個別リスクに基づく適切な胃がん検診提供体制構築に関する研究」(課題番号: 19ck106527)
研究班(研究代表者 深尾彰)の一部として行っています。

がん検診の新しい方法は期待できるか？

「線虫を使って、1 滴の尿からがんを発見」、「血液 1 滴でがん診断」といったニュースを最近眼にすることはありませんか。

がん検診として、以前から様々な方法が検討されてきました。しかし、実際にがん検診として国が認めているものは、5 つの検診(胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん)に限られています(表 1)。一見うまくいきそうな新しい検診方法が、なぜ国のプログラムとして取り上げられないのでしょうか。実は、がん検診が確かに利益をもたらすと判断されるまでには、段階的に科学的根拠を証明していく必要があるからです。

多くのがんを発見できるということで始まったがん検診が実は不利益をもたらす場合があります。安易な導入は、その後の大失敗に繋がり、結局は中止になってしまったという例をご存知でしょうか。この典型例が、日本で行われた赤ちゃんのがん、神経芽細胞腫の検診です。

赤ちゃんのお腹に腫瘍ができる神経芽細胞腫という病気があります。この病気のために幼くして命を落としてしまう子供もいます。京都府立医科大学の小児科の先生が赤ちゃんの尿を調べることで、この腫瘍を早期に見つける方法を開発しました。その成果が、国際的にも有名な雑誌に掲載され、日本では昭和 59 年からこの方法による赤ちゃんの検診が全国で行われるようになりました。その結果、腫瘍が見つかり多くの子供が助かったかのように思われていました。

こうした成果が国際誌にも公表されるようになり、ドイツやカナダで同じように赤ちゃんのためのがん検診が行われるようになりました。しかし、これらの国から、検診を行ってもこのがんで死亡する小児の死亡率は検診を始める前と変わらなかったという報告が出てきました。

そこで、厚生省は有識者を集め検討会を開き、国内と海外の研究を検討し、全国で行っていた神経芽細胞腫の検診を休止するという決断をしました。

その結果、どういうことが起こったのでしょうか。図 1 にあるように、検診をやめることでこの腫瘍の発見率(罹患率)は極端に減りました。しかし、検診をやめる前と後を比較しても小児のがんによる死亡率は変わりませんでした。

なぜ、こうしたことが起きたのでしょうか。神経芽細胞腫には特に何もしなくても自然に消えてしまうタイプの腫瘍があります。検診を行うことで、命を落としてしまう腫瘍を早く見つけられることになりましたが、一方で、消えていくはずの腫瘍も多数見つけてしまったのです。これにより、消えていくはずの腫瘍を持っていた赤ちゃんも治療を受けることになりました。すなわち、がん検診によって、命には何ら影響のない余計な腫瘍を見つけることで、利益というよりも不利益をもたらしたことになります。発見された一部の腫瘍は、もともと命には影響のないタイプのもので、結果的にはこの腫瘍による死亡率には何も影響はなかったということです。

医学における失敗の事例は、その後の医療政策を考えるうえで重要です。同じ失敗を繰り返さないためには、何をしたらよいのでしょうか。

まずは、がんを簡単に発見できる、たくさん発見できるというだけで、安易にがん検診を行うという判断をしないことです。がん検診として実施できるまでには、時間をかけて研究を積み上げていく必要があります。安易な見込みだけで、見切り発車をしてしまうと、先ほどの赤ちゃんのがん検診の様なことになりかねません。では、どのようにして、がん検診の研究が進められるのでしょうか。

がん検診の研究には 5 段階あります (図2)。最初は方法を開発し、本当にがんが見つかるかということを確認めるとことから始まります。まずはがん患者を対象にした研究が行われますが、検診に使えるようになると、病気のない健康な人を対象にした研究が行われます。最初はどのくらいがんが見つかるかというところから始め、最終的に検診によりがんで死亡する人が減少するところまで調べていきます。

最近、こうした科学的根拠を積み上げることで、国のプログラムとして皆さまに提供できるようになったのが胃内視鏡検診です。15 年前までは、胃内視鏡検診は多くのがんを見つけられるということで、X 線検診より優れた方法だと思われていました。しかし、よく調べてみると図2の第3段階に必要な研究すら十分に行われていませんでした。こうした事実が国立がん研究センターで作成した胃がん検診ガイドラインによって明らかになりました。

そこで、胃内視鏡検診の効果を証明するために、第3段階から第5段階までの研究が進められました。第5段階の研究は鳥取県と新潟県で行われ、胃内視鏡検診を行うことで胃がん死亡が減少することが科学的に証明されました。こうした成果が、国立がん研究センターのガイドラインにも反映され、厚労省が全国で胃内視鏡検診を行うという方針を公表するに至りました。時間はかかりましたが、科学的根拠をもとにしっかりと判断ができました。その後、韓国や中国など胃がんの多い国々でも同様の成果が公表され、日本の研究が正しい成果を上げたことが支持されました。

表1 国のがん検診プログラム

がん検診	方法	対象	検診間隔
胃がん	内視鏡またはX線	内視鏡: 50歳以上、X線: 40歳以上	内視鏡: 2年毎、X線: 毎年
大腸がん	便潜血検査(2日法)	40歳以上	毎年
肺がん	胸部X線(喫煙者は喀痰細胞診追加)	40歳以上	毎年
乳がん	マンモグラフィ	40歳以上	2年毎
子宮頸がん	細胞診	20歳以上	2年毎

図1 神経芽細胞腫の発見率(罹患率)と死亡率

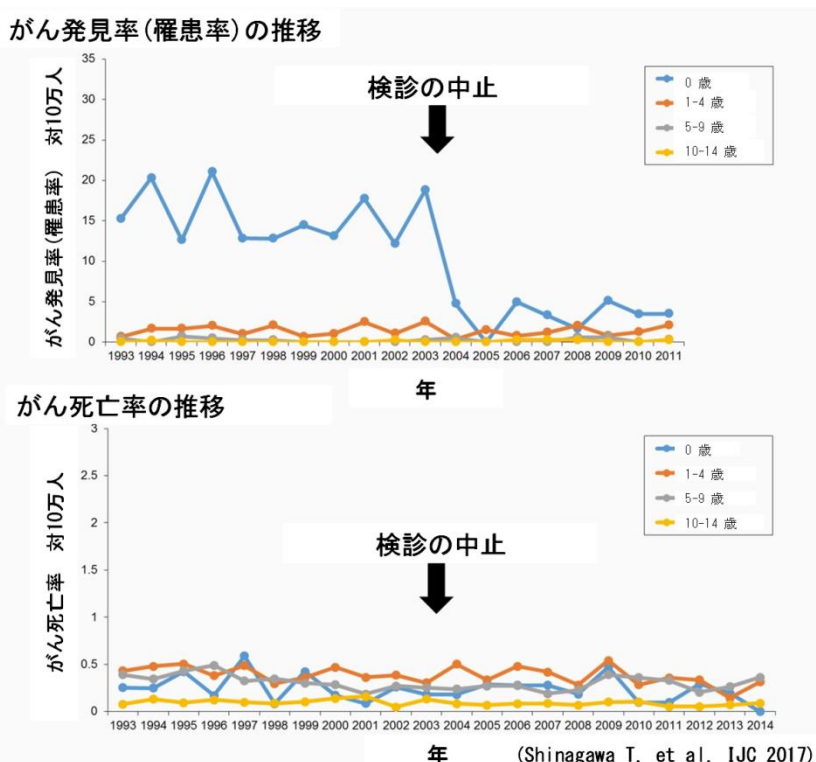


図2 がん検診の科学的根拠の証明プロセス

段階	対象	概要
第1段階	患者	臨床応用ができるか調べる
第2段階	患者	がんを正しく診断できるか調べる
第3段階	健常者	早期の段階でも診断できるか調べる 検診で陽性(病気の可能性)の基準を決める
第4段階	健常者	健常者を対象としてがんを正しく診断できるかどうか確かめる
第5段階	健常者	検診を行うことで、がんの死亡が減ることを確認する

(Pepe MS, et al. JNCI 2001 に基づき改変)

研究参加地域の紹介

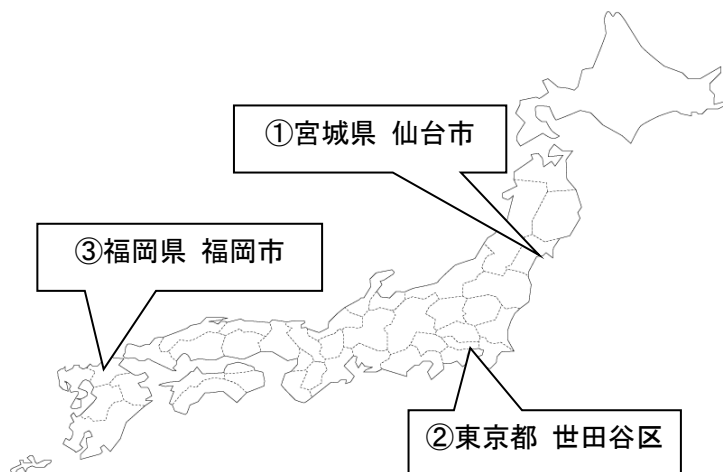
令和2年度からは、新たに宮城県仙台市、東京都世田谷区、福岡県福岡市が研究対象地域に加わります。

①宮城県仙台市

宮城県中部に位置し、「杜の都」といわれる、宮城県の県庁所在地です。平成元年に政令指定都市となりました。伊達政宗ゆかりの地として知られています。

人口は1,089,372人(令和元年)。市の鳥はカッコウ、花はハギ、木はケヤキ。

5月の青葉まつり、8月の七夕まつり、冬はSENDAI光のページェントと、大規模なイベントも盛んに行われています。



仙台市ホームページ:

<https://www.city.sendai.jp/>

②東京都世田谷区

東京23区中の西南部に位置し、人口・世帯数共に、東京23区中で最も多い区です。人口は915,215人(令和元年)。

区の鳥はオナガ、花はサギソウ、木はケヤキ。

今年開催の東京オリンピック・パラリンピック競技大会では、区内の馬事公苑(昭和39年の東京オリンピックでの、馬場馬術競技会場)で馬術競技が行われる予定です。

世田谷区ホームページ:

<https://www.city.setagaya.lg.jp/>

③福岡県福岡市

九州の北岸、福岡県の県庁所在地です。人口は1,595,674人(令和2年)。

日本有数の水揚げ高を誇る鮮魚市場や、観光客にも人気の屋台など、食文化の豊かな街でもあります。

市の鳥はホオジロとユリカモメ、花はサザンカとフヨウ、木はクロガネモチとクスノキ。

5月に行われる博多どんたくが有名ですが、合わせて行われる博多松囃子は、国の重要無形民俗文化財に指定されます。

福岡市ホームページ:

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/>

胃内視鏡検診研究中央事務局

〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1

帝京大学 医療技術学部看護学科 保健医療政策研究室

URL: <http://www.j-sasg.jp/>

研究進捗状況、アイリスレターやホームページへの掲載希望はこちらまで

E-mail: endoscope.jimukyoku@gmail.com



キャラクター「アイリスちゃん」紹介

アイリス(あやめ)の花言葉は「よい便り」「メッセージ」です。

「アイリスちゃん」は、研究協力をお願いしている方々に、健康に役立つ情報をお届けします。

